



かえでのもり (つむぐ編)

合志市立合志楓の森小学校

学校だより 第4号

令和8年6月17日(水)

文責:校長 高田 幸伸



○校訓 「志高く 道を拓く」 ○学校教育目標 「夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成」

1 水俣に学ぶ肥後っ子教室

6月5日(金)、5年生は「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を行い、貸し切りバスで水俣へ行きました。

現地では、水俣病資料館で語り部の方のお話を聞いたり、熊本県環境センターで展示物の見学を行ったりして、事前学習からさらに学びを深めました。

語り部の緒方正実さんは、お話の中で

苦しいでき事や

悲しいでき事の中には

幸せにつながっているでき事が

たくさん含まれている

このことに気づくか 気づかないかで

その人生は大きく変わっていく

気づくには一つだけ条件がある

それは、でき事と正面から

向かい合うことである

と語られています。

この話には、全ての人がよりしなやかに幸せに生きていくためのヒントがあると感じました。

子どもたちは、学習後調べたことをもとに意欲的にまとめています。発表が楽しみです。

【保護者より】

子どもは水俣での人権学習の日を、何週間も前から楽しみにしていました。水俣で学んできた事、自分が感じた事を、帰宅後に話してくれました。私は、県外出身者なので、水俣の事は、教科書のみで学びました。実際に水俣に足を運び、体験談を聞ける事は、とても ありがたい事で、そ



〈↑ フィールドワークの様子〉

んな経験ができる子どもが羨ましく思います。水俣での学びをこれから生かしていける様、家庭でも人権についての学びを深めていきたいと思っています。

2 読み聞かせ、 ありがとうございます

5月28日(木)、本年度はじめての読み聞かせをしていただきました。

例年1年生から3年生まででしたが、今年は4年生まで行う事ができるようになりました。これもひとえに、読み聞かせにご協力いただいている皆様のおかげです。ありがとうございます。

子どもたちは、読み聞かせが始まるとお話に引き込まれていました。

読み聞かせは、月1回、木曜日の 13:20～13:35(15分)に行われます。



〈↑ 読み聞かせの様子〉

3 火災避難訓練

6月4日(木)、小中合同で火災避難訓練を実施しました。今回は、給食センターを出火場所として想定し小学1年生から中学3年生までが避難経路を確認しました。

当日は雨という事もあり、当初予定していた運動場への避難・集合はせずに避難経路の階段や出口までの移動で、避難経路を確認しました。

火災避難訓練でのキーワード「お(押さない)・は(走らない)・し(喋らない)・も(戻らない)・ち(近づかない)」を確認しての実施で大きな混乱もなく、真剣な態度で避難訓練を実施する事ができました。

災害への備えは、とても重要でさらに自助・共助・公助が円滑なほど、被害は軽減できると言われていいます。ご家庭でも話題にしていけると幸いです。



〈↑ クラスでの避難の様子〉

～地域の方からの手紙～

先日、地域の方から、本校の中学生への感謝の手紙が届きました。交通事故に遭われた方がパニックになり、連絡が取れずに困っておられた様子に気づいた本校の中学生たちが、警察に連絡をしたり、「気分はどうですか?」「手伝うことはありませんか?」「痛みはありませんか?」などの言葉をかけたりしたそうです。そのような行動に対して「心の支えになった。」「大変有り難かった。」と感謝の内容が手紙には書かれていました。その生徒たちは、名のる事もなく立ち去ったそうです。後日その生徒たちは「あたりまえの事をしただけです。」と話しました。カッコいい楓っ子の先輩たち、ありがとうございました。